

命と心を 育む社会を目指して

佐賀県議会議員

下田ひろし県政報告

発行

佐賀県議会議員 下田 寛

〒841-0026

佐賀県鳥栖市本鳥栖町1542

TEL090-4994-8312 E-mail:hiroshi_shimoda_bmse13@yahoo.co.jp



下田ひろしHP

vol.19

2024年 夏号

佐賀県議会 6月定例会 一般質問風景

令和6年6月定例会 一般質問

高等教育機関との連携について

県議会の大きな議題の一つに「県立大学設置」についての議論があります。県からの説明では「若者の県外流出への歯止め」という説明が再三されております。また、「このご時世に大学を設置する必要があるのか?」という声も聞かれます。

先日、鳥栖市にある龍谷短期大学の募集停止という報道がありました。この報道は、近年、とにかく「保育士が足りない」と叫ばれる中、その保育士の育成機関が一つ無くなるということになります。また、介護士を育成している西九州大学についても定数の半分ほどは外国人を受け入れており、これは将来的に外国人の介護士が佐賀県内で活躍することになるであろうことを示唆しています。このように、佐賀県内の短大や私立大学等の高等教育機関は、私達の生活に密着する人材を育成し続けていただいております。

これらのことを考えると、激変する時代の中で、大学の価値は向上していますし、少子化時代の中、専門性を持った高等教育機関の必要性は年々増していると考えて良いと認識しています。

また、国の大学制度のあり方についても、都会に有利な制度になっていることも課題です。この点もこれからの地方を考えると、国に提案していくべき課題であり、知事にその考えを求めました。

そこで今回は、**県立大学設置を前提に「地方の高等教育機関への支援」と、「県内の高等教育機関との連携」について知事に尋ねました。**

知事からは、私が提案した「国への提案について」と「個別大学による生き残りではない県と高等教育機関、教育界、産業界との連携について」賛同の意見をいただき、価値ある議論ができました。

○全国の大学進学率

90年代	2000年代	2023年
20%	40%	57.7%

一般質問動画は
こちらから →



その他の質問項目

- 佐賀県の国際戦略について
- 「共同親権」について
- 国と郷土への愛を育む教育について

国への提案事項

- 1 基礎となる学生に、学び直しのためのリスキリングや社会人学生を含めること。
- 2 全大学に同額の基本額を設定し、これに規模に比例する分をプラスする2段階方式にすること。
- 3 地域への専門人材の供給など、私学が頑張っている地域貢献を評価する仕組みを作ること。
- 4 公立大学と同様に、地方自治体が私立大学等へ補助した場合に、地方交付税が当該地方自治体に交付される仕組みを作ること。

令和6年6月定例会 文教厚生常任委員会

委員会質問動画はこちらから →



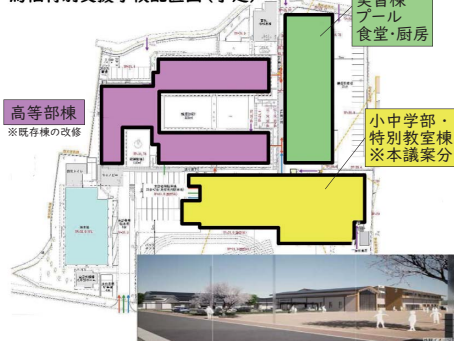
1 スクールロイヤーについて

鳥栖市教育委員会から県に要望が上がっている、スクールロイヤー（学校弁護士）制度についての考え方を尋ねました。増え続ける専門性の高い相談内容に関して、県の制度である学校弁護士制度を市でも活用できないかという内容です。県からは「検討していく」という答弁でしたが、新聞にも取り上げていただきました。

2 鳥栖特別支援学校について

今回の議会では、令和8年に開校予定の鳥栖特別支援学校の建設事業について9億453万円の議案が提出されました。施設整備の全体像や想定している学部別の児童数等を質問しました。

鳥栖特別支援学校配置図（予定）



3 認知症対策について



65歳以上の人口がピークを迎える2040年には、認知症高齢者は584万人に達し、また2060年には645万人となり、高齢者の6人に1人は認知症になると想定されています。本年1月から「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され、佐賀県の認知症対策も「理解促進」や「社会参加」等のソフト事業をより推進していくとのことであり、詳細についてお尋ねしました。

活動報告写真

4月

4月4日(木)
CODO 外語専門学校入学式



来賓として出席させていただきました。世界中から集まった新入生達。鳥栖のことはもちろん、日本を好きになって、社会に羽ばたいていただきたいと思います。

4月13日(土)
SAGA グローバルリサーチセンター
オープニングレセプション



茨城県つくば市にあった研究施設を鳥栖市1箇所に集約され、生産と研究の連携の強化が図られます。何十年先を見据えた「手当て」について基調講演をいただき、夢が膨らみました。

5月25日(土)
鳥栖中学校運動会



天気にも恵まれました。この日のためにみんなが一生懸命取り組んできたんだな、という熱が伝わる運動会でした。生徒達の一生の思い出に残る運動会になって欲しいと願うばかりでした。

5月

5月17日(金)
SAGA2024 鳥栖市実行委員会



開会まで100日を切った国民スポーツ大会、全国障がい者スポーツ大会に向けて、鳥栖市の実行委員会総会が開かれました。「体育大会」から「スポーツ大会」へと変わり、新たな歴史が刻まれるSAGA2024に向けて準備が進められています。

5月19日(日)
嘉瀬川六角川松浦川総合水防演習



国・県・市・町が連携した大規模な水防訓練。警戒レベル5段階に分けた訓練はイメージしやすいものでした。鳥栖市からも消防団の皆様が視察にいられていました。

5月19日(日)
SAGA ものスコフェスタ10



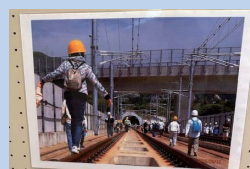
今年も行われた、ものスコフェスタ。大人が本気で作っている「本物」を、熱く子供達に説明して、楽しそうに体験している様子がとても印象的でした。中には高校生も子供達に説明していたりと、昨年よりも幅広くゆったりと楽しめるイベントでした。

6月

6月2日(日)
鳥栖市市政施行70周年記念式典



今年は鳥栖市制70周年記念として、様々な事業が開催されます。先人が情熱を伝えていただいたお陰で、全国に名が知られる住みやすいまち鳥栖があります。これからも更に住み良い町として発展し続けるまちであるために、私も微力を尽くします。



なつかしい新鳥栖駅付近の新幹線開通前の風景写真。私もみんなで歩いた思い出が。

6月9日(日)
佐賀県難病相談支援センター総会



総会では、分身ロボット「オリヒメ」の紹介がありました。以前県議会でも取り上げたことがあります。単なるオンライン通話ではなく、「形」があることで、様々な分野で活躍の幅を広げています。

6月9日(日)
小郡鳥栖南スマートインターチェンジ開通式



いよいよ開通したスマートインターチェンジ。福岡県佐賀県の両県の関係者が集まり盛大に開催されました。これからの工業団地の造成含めて、更に拠点性が発揮されることを期待しています。

あ と が き ~夏の思い出~

私が少年時代の夏休みには、よく田舎の祖父祖母の家に帰ってました。まだ4、5才の頃と思います。裏庭でばあさんと虫取りして遊んでいるとカマキリがいました。カマキリの目が怖く、ばあちゃんに捕まえてもらいました。ばあちゃんから私にホイッと渡された瞬間、カマキリは飛びながら私の指を刈りにきました。あまりの迫力にびっくりして、ばあちゃんに飛びつき泣きじゃくってました。その時以来、今でもカマキリが苦手です。これから夏本番。素敵な思い出がたくさんつくられる尊い期間になることをお祈りしております。

登録
お願
いし
ます



<https://lin.ee/opcwmAn>

【討議資料】

